

# かぐらおが

第 39 号

昭和59年 3月15日

編集 旭川医科大学  
厚生補導委員会  
発行 旭川医科大学教務部学生課

(題字は前学長 山田守英氏)



(写真撮影 医学部附属実験実習機器センター 宮川 清志)

冬景 (大雪山系)

第6回卒業生に贈る……………	黒田 一秀… 2
卒業生を送るにあたって……………	清水 哲也… 3
試験、そして卒業……………	笠茂 公弘… 4
四季・旭川……………	宮永美寿津… 4
カミヤマオソレヌ六ネンカン……………	丸山 弘樹… 5
昭和58年度講演会一覧……………	6
小児医学の対象……………	奥野 晃正… 7

1年のあゆみ……………	8
研究室紹介……………	岡田 雅勝・原田 一典… 10
スキー教室……………	10
学生証について……………	10
サークル紹介……………	11
窓 外……………	高橋 達郎… 20



## 第6回卒業生に贈る

学 長 黒 田 一 秀

Woraus soll der Arzt reden, als aus der Natur. Wie sie ihn lehret? - So ist vonnöten, daß ein Arzt eine große Experiencz habe. Nicht allein was im Buche stehet, sondern die Kranken sollen sein Buch sein.

—Paracelsus: Vom Licht der Natur und Geistes.  
Reclam文庫, 1979, 123頁 : Erfahrungheit

いよいよ卒業おめでとう。昭和59年3月24日は本学の第6回卒業式である。卒業生諸君は一人のこらず、6年間にわたって展開されていた大学の全課程を学び終えて、今医学士として、実地での新しい一歩を始めようとしている。それぞれの回顧と展望とをお持ちだろうと思うが、諸君と共に過ぎてきた教職員にとっても、春ごとに持つ、まことに深い感慨の時なのである。

諸君は開学10年目の卒業生である。私達の大学は昨年までに451名におよぶ諸君の先輩達を世に送り出した。

先輩諸君の活躍については、多く見聞きしていることだろう。一期生で大学院コースを終え学位を得た人が7名も出た。そのあとに約60名もの、研究の最先端をゆく若い研究者が続いている。同窓会としても次第に実力を貯え、開学10周年記念事業に多大の貢献をし、会としての記念植樹もした。しかし何よりも頼もしいのは数百名の青年医師が旭川医大卒という名を荷って、診療の第一線で、日夜患者さんのために活動しているということである。このような先輩達のなかに6回生の諸君が新勢力として加わるのである。すばらしい情景である。

いま医学・医療をめぐる、いろいろな論議が交わされている。いわゆる医師過剰の予測もその一つである。

もう始まっているという人もある。新卒業生諸君にとっては気になることかも知れない。この問題はしかし、単純に騒がしく報道されるほど答の決まっていることではない。現状で本当に医学校を出たものを必要としているところは何処なのか、それさえハッキリさせていない。学生数を減らすだけで解決できるのか。考えれば問題は別のところにあるとも云える。そんなことは兎も角、新卒業生諸君はいまどうしたらよいのか。いま自分の目のまえにある、些細な、やさしい仕事をキチンとこなすことだと思う。天は自ら助くるものを助くとか、チャンスは後頭部が禿げているから前髪で捉えねばならぬとか、いそがずに休まずにとか、古来いろいろな表現がある。何かを成そうとするなら、準備状態がなくてはならぬ。たとえ棚から牡丹餅でも受けとめることができなくては自分のものにはならぬ。新卒諸君は今の時点で、今の自分の問題に十分対応できる筈である。個人的差はあっても積極的に自分の問題を解いて行くことである。必ず答が返ってくる。諸君は大学生活を通じて、こんなに沢山の練

習をしてきたのだ。どんなことにも、自分なりに答えられるのである。医者が余っているといっても、役に立つ人は、何処に於いても決して余ったりしてはいない。

もう一つ。諸君もよく御存知の通り、医は実践と経験の業である。学生として医学を学んだといっても、一定の献立で満腹する程食べさせられたということで、あなた作る人、私食べる人であった。また一方、教養科目を除いて、専門の学科では人体を機械論的に理解することで一杯であった。これからはいよいよ直接なまの事象に当って、生命と死、健康と病気、人間の存在そのもの等々に思いを致さなければならない。ひとそのものの生存に関わる問題を扱う専門職なのだから、肉体のメカニズムの科学的理解だけでは解決しないもののあるのは当然である。学生時代にも学生として社会との付合はあったことだし、人文科目も選択したのであるから、およその見当はついていようが、これから自らの医学概論を書くことになる。

そしてこれを欠いては世の中から排除されることになるだろう。特別講義・史料講読に杉田成卿の「医戒」があったかと思うが、このなかみを思い出してほしい。いよいよ医戒を実践する時がきたのである。そのなかに「経験日記」をかけということがあつた。もちろん今日診療記録をつくることは法律で定められた義務であり、医学的事項を記録し客観化することは大切で役立つ、しかしもっと広い意味で成卿の云うように人間(学)的经验も、客観化とはちがう象徴化とでもいう形で記録され、伝達可能になる。

それは他人に対するよりも、自分が自分にコミュニケーションすることになる。新しい出発をされるに当てもし未だなら、自分をみつめ、自分の記録、メモをその時々に残すことを是非おすすしたい。そして自己反省のなかから、つねに準備状態ができ、チャンスが諸君を恵む時即応できるのである。社会は諸君の出を待っているのである。

冒頭の独文は自然と経験を重ねて近代医学への端緒をひらいたパラケルズスの言葉である。物理的自然だけでなく、人との経験を通して、患者さんを読んで経験を蓄積し、記録してほしい。すばらしい興味溢れる前途が諸君の前に一様にひろがり、一方また深い人生の喜びを知るだろう。限りない世界が諸君のものである。もう一度卒業おめでとう。



# 卒業生を送るにあたって

清水哲也

「芝生づくり」をしていて、今更のように思い出されるのが、「となり」の芝生という言葉である。

寒冷地には西洋芝しか生えないので、旭川では西洋芝ということになる。ところで西洋芝にはケンタッキー種とベント種がある。丈夫なことはケンタッキー種が定評のあるところで、また「育芝」にはとても手がかかる弱い種ではあるが、もしも、うまく生えてくれれば、こんな美しい「芝生」がないといわれているのがベント種である。

ところが、美人薄命のたとえにも似て、このベント種というのは、夏場に殊他弱く、その他にも「カンジタ」感染や土壌の酸性化などでたちまちに枯れてしまうので、片時も目がはなせないといっても過言ではない。まあ、「超未熟児」の哺育にたとえることもできよう。

したがって、2～3日、灌水をさぼったり、あるいはまた、2週間に1回の抗カンジタ系農薬の撒布を忘れてたり、あるいはまた春秋の苦土石灰の撒布を怠ると、芝生はたちまち枯れてしまう。

どんなに心がけていても、そこは生身の「からだ」、多忙にかまけたり、猛暑の週末などは手入れを省略してしまうこともある。結果は「てきめん」で、とたんに「黄ばん」だりあるいはまたブラウンパッチ病にやられたりする。

そうすると、人間のいやらしさをまる出しにして、ご近所の芝生の状況を、やたら「かき」まわって歩くことになる。

いかに強心臓でも、他人の芝生に入りこむことは出来ないから、さりげなく散歩、逍遙をきめこんでいるふりをして、横目でチラリと、お目当の芝生を観察することになる。

立ったままの姿勢で、地面の芝生を観察することになるから、おしなべて、「となり」の芝生は緑濃く、実にうらやましい程の「あでやかさ」ということになる。

さて、帰って来て、我が家の芝生をしゃがんで、眺めれば眺める程、こども、あそこも駄目と欠点ばかりが目について仕様がないうことになる。

「俺はどうして、こうも芝生育てが下手なのだろうか」とガックリしていたら、ある日、機会があって、かねがね素晴らしい芝生だなあと憧憬的であったお宅を訪れる機会があって、短時間芝生を斜め上からではなく、芝生に入って、しゃがんだ姿勢で、見学させて頂く機会をえた。

雑草もかなりあるし、病気のために枯死している箇所

も何か所かあって、妙に親近感を覚えて帰って来たことがある。

マイカーのハンドルを握りながら、ニヤニヤしていたら、猛妻が「何よ、意味もなく白い歯見せて、いやな人ねえ」とにらみつけられてしまった。

「となり」の芝生という言葉が、かなり実感された次第である。講義実習棟前の芝生を研究棟7階の窓より眺めると、濃緑のまことに非の打ちどころのない芝生に見えるけど、そばに行ってみたら、クロバー畑になってしまっている有様を知って、なんだと思ったことがある。

「となり」の芝生は限りなく美しく「となり」のご家庭はとても明るく、「となり」の「かみさん」もこよなく美人に見えるのが世のならい。

理想的に見える「となり」のご家庭が案外に難問をかかえて呻吟していたり、美人に見えた「となり」の「かみさん」が相当のヒステリ症だったりというような話は枚挙にいとまがない。

ある日、聞くともなしに聞いてしまった六学年同志のこんな会話。A君「お前、あの大学はすごいぞ、卒業実習はバッチリ。カリキュラムは立派だし」。B君「そうか、俺もあの大学にするかなあ、旭川は寒いし、新設医大は教官の層がうすいし…… etc, etc」

自分の芝生の出来がよい時は、「となりの芝生」はさっぱり気にならないが、芝生の出来に自信がないと、お他人さまの芝生が気になって仕様がないうのもの。

自信のなさは、ときに自己評価を過小にしてしまい勝ちである。もちろん、自己の能力に対する過大な評価は厳に自戒の要がある。鼻っ柱の強い、自信過剰の医師位、鼻もちならないものはない。「俺に出来ないことがあるか」といった医者思いあがりや噴飯ものだけど、母校を過小評価する学生が意外に多いのにも驚かされる。

私の教室にはI期生が多数いる。A君、B君、C君……。みんな素晴らしい諸君ばかりだ。診療に、研究に、実によい仕事をしている。関連の全国学会でも、地道だけど、堂々と発表をしている。質問に対する答えも立派である。「旭川医大卒業生は、私にとって誇りである……」といったら、I期生が口を揃えて、「先生、買いかぶりですよ」。

それでまた、私は本学の卒業生が好きになってしまった。

(第6学年学年担当、産婦人科学講座 教授)

## 試験、そして卒業



笠 茂 公 弘

「かぐらおか」に何かを書く様に言われた時に、「私の6年間の感想などを書いて仕方が無いし、感想と言っても『ようやく終わった。』の一言で済む。」と

考えまして、もっぱら、これから「卒業」を目指す後輩諸氏と諸先生方に申し上げたい事を、私のこの6年への感想を交えながら、この場をお借りして書くことにします。

この6年間で、何が一番印象に残っているかと言いますと、何と言っても試験です。何しろ、こんな嫌な代物は有りませんし、特に私の場合、他の人よりも、沢山の試験を味わって来ているので、試験の印象が、とにかく一番です。そして、殆どの人の、一年のうちの最大の関心事が試験で、これを無事乗り切る事を願ってやまない筈です。乗り切るためには、勉強をする以外に手は無いのですが、最も大切な事は、最後まで諦めないという事です。特に卒業試験や5年の試験などの様に長丁場の試験では、途中で嫌になるけれども、諦めは禁物です。

本試で落ちると、当然、再試という事になる訳ですが、再試という物は、数が多いから留年の憂き目を見るという訳では有りません。沢山あっても、全部通れば良い訳ですから。もちろん少ないに越した事は有りませんが、沢山あるからと言って、諦めてしまうのは愚の骨頂です。

本試にしろ再試にしろ、卒業試験を除けば、勉強をするのは、1か月か2か月位がせいぜいです。その間くらい頑張った所で、死ぬ訳でもなければ、狂ったりする事も無いでしょう。とにかく、最後に必要なのは、気力です。

これさえ持っていれば、ちょっと位の再試で、ダウンする事など有りません。この気力、これこそが、人をして私を「ミラクルパスの笠茂」と言わしめた源なのです。

試験は、諦めず、辛抱です。「おしん」になり切る事が、試験終了後の美酒をもたらしてくれるのです。

試験と言えば、講義の出席も含めて、旭川医大は締めつけが厳しい、と良く言われています。実際、私の友人の他大学へ行っている者に尋ねてみると、やはり旭川医大はその傾向の様です。

教養の時から、勉強・勉強、試験・試験、と尻を叩かれ、1年から6年まで、試験の恐怖と戦い続けるのですから、学生が「高校の延長だ。」とか「専門学校だ。」とかぼやくのも、仕様が無い事でしょう。大学の体制だからどうし様も無いけれど、もう少しどうにかならないものでしょうか？（この点は、先生方に申し上げたい。）

この様な、1年から6年までの首尾一貫した締めつけが、良い結果を生むのか悪い結果を生むのかは、分り

ませんが、国家試験の合格率と言う尺度で見れば、良い結果が生まれているのでしょうか。しかし、国家試験だけではないし、また、国家試験の合格率こそ、最良の尺度と、お考えの先生が居られるならば、やはり旭川医大は、「高校の延長」であり「専門学校」であると思います。

いつの日か、この旭川医大が、もっと大学らしい、自由な学問の場になる事を期待します。

今、卒業試験も無事終了し、先述しました様に、ただ、「ようやく終わったのだ。」と実感するだけです。この安堵感、良い物です。後輩諸君、とにかく、何でも良いですから、遅れる事なく卒業してしましましょう。

この6年間、色々とお世話下さいました諸先生、どうもありがとうございました。1年の頃から、余りの劣等生で呆れられ、ポックリでも怒られ、呆れられ、遂には罵倒された私も、何とか卒業する事ができました。

劣等生の私を、色々と助けてくれた、同級生諸氏、仲々辛い6年だったけど、お蔭で、けっこう楽しい学生生活が送れました。どうもありがとうございました。

では、最後に、後輩諸氏の御健闘を祈ります。

(第6学年学生)

## 四季・旭川



宮 永 美寿津

2月、とても寒い季節。ここで迎えるのも、もう6度め。大学に行く途中の樹氷がキラキラ光ってる季節。道端の残雪が随分色褪せて新鮮な雪の白さもどこへやら……寒さだけはひとしおで、ひょっとしたらもう2度と来ないかもしれない春がとても待ち遠しかった5度めまでの2月。今年は、やけに寒かったりするけど、でもずっとこのままでいてほしいなあ……なんて思ったりもする今日此の頃。

過ごしてきた6年間を振り返ってみると“もう笑おうもう笑ってしまおう、昨日の夢は冗談だったと……”なんて言葉も妙に切なく響くのだから、きつとちよっぴり重い（これは heavy ではなく important の意味で）6年間だったと思う。

旭川は北海道の中でも季節の裏打ちがしっかりしている所で——年較差60℃という気温もそれを物語っていて——私だけではなく多くの人の心に、四季折々の想いが詰まっていることと思います。

まず始まりは春：私の飼っている虫たちが蠢きだしてピーピーギャーギャー“春だよ、どっか行こ行こ、何かしよよ”ってな感じ。でも外は泥まみれの冬の残骸と傷ついてめっちゃんこ埃っぽい道路。この時期に私がやっていた事という、まずはテニスコートの雪かき、そ

して雪の中に入って転んだ外周りのランニング、春休みを越えて逢った友達とのコミュニケーション、故郷の友達へのフレンドシック（不思議にホームシックにはならなかったのです）。そこでお勧め、やること決まっていな人はとにかくクラブに入ってみたら？接触は自分からしなくちゃね！！

次は初夏：これはもう最高の季節。我々の相言葉はひとつ“天気いいネ”この一言で講義はバス、富良野に向かう38号、留萌を目指す275号は快適なフリーウェイになります。朝夕は空気も冷たく澄み、夜の星見とか、朝焼けにびったり。遊び気分の徹夜も学生の特権なんだから、皆でお喋りした日なぞ、眠い目こすって日の出見に行くのも仲々乙ですヨ。そして絶対参加したいのが大学祭。夜中大学へきてマスコット作ったり、笑って駆け回ったりできるのも、今っきゃない！！って感じです。

夏：道内でも有数の猛暑の旭川、ちょっと抜け出して留萌へ泳ぎに行ったり、北をめざして走ってみては？それと長い休みがあるのだから、東医体で燃焼した後は、頭腐らない様に刺激求めて欲しい季節です。私の知人3人が死んだのは夏でした。結論なんてもんじゃないけど、何となく思うのは、悩んでも落ち込むなってこと。vitality 溢れている方が、やっぱり人間いいもの。そして、自分の為に生きるなんて余程強くなっちゃできないんだし、どうせできないとしたら、自分を求めてくれる人や場所は、自分が手探りで獲得しなくちゃいけないんだってこと。考えているのは自分だけじゃなくて、口に出さないまでも、きっと皆、考え悩んでいるのだから、人が発しているSOSを感じ取れる位の感性は失くしたくないってこと。

秋：次に来る冬を憂へて遠出したい気分になる季節。

この時期目指したのは東。知床横断道路に向う道すがら見える海岸線や、眼前に開ける北方領土は印象に残ります。又、この時期は試験間近で勉強も必須。きりぎりすの身としては、やっぱりやるしかない訳で、短期決戦型の自分を嘆きつつ机に向かってました。有効だなんてつくづく感じるのは勉強会と情報量。一人よがりにならない為にも大きな耳と目をもって望んで下さい。

最後に冬：1年の半分雪見てるのだから、雪もめづらしくなくなったけど、初雪は相変わらずザルンルンするし夜空から舞降りる雪は食べたくなっちゃう。綺麗だし、雪の魂かじってエネルギー充填もできてしまうのです。

是非一度見ておきたいのは流水。人工産物がどんなに美しくても自然は越えられないと感じます。それと絶対必要と思ったのは積極的な気分解消法。雪中サッカー、スキー、雪かき、室内テニスetc。体動かすと頭まで悩みが回らない時も多いのでは……。

思いつくまま書いてきましたが、6年間を通じて、良かったと思うのは、テニスやった事、お話しするの大好きだった事、車持った事、棧敷へ入った事、生真面目すぎなかった事、でも一生懸命やった事、徹夜好きだっ

た事、お酒よく飲んだ事（アハ！！）……教えたらしきがないけど、本当に最高良かったのは——そして、今後もずっと大切にしたいのは——同じ時を過ごしてきた気のおけない仲間たち。泣いたり、笑ったり、時には意地張って後悔もしたけど、卒業にあたって、今、心から“人間大好き”って言えるのも、真直ぐに胸はって前進できるのも、あなたたちのおかげだと思ってます。最後になりましたが、本当にみんな、ありがとう。

（第6学年学生）

## カミヲモオソレヌ六ネンカン



丸山 弘樹

卒業を目前にして、ヘアラインの退行に拍車がかかってきました。とても学生の本分を尽くしたとは思えないだけに、この場に登場すること自体カミヲモオソレヌタイドと罵声が聞こえそうな気がいたします。

学生時代の思い出としては、クラブ活動（準硬式野球部）で5年の時、東医体準優勝し平和台球場で開かれた全医体に出場したことが一番素晴らしいものです。本気で野球に燃えた一学生の繰り言を聞いて下さい。

### 1. 過渡期にあたった野球部

私が入学した頃から、野球部では試合に出れない部員が増え始め、5年の時には出れない部員で2チーム作れる程に増えておりました。創部当初の諸先輩は部員の不足に苦労されたと聞きました。それがわずか数年後には、部員の増加について考えてゆかなければいけない状況になったわけです。

### 2. チーム全体として

チームの目標は東医体優勝です。これを達成するために、従来はレギュラー中心の練習が行われてきたのです。これは創部当初の全員がレギュラーの頃は効果があったと思います。過渡期においては、練習中にも自分がレギュラーであることを確認する以上の効果は無かったのではないかと思います。レギュラーにとりましては、慢心が生じますし、レギュラー以外の人にとりましては、不満が生じます。上手な人中心の練習は、優勝に至る一番の近道のように思えますが、実際は下手な人が伸びないのは当然として、上手な人も力を落としていったのです。

責任学年（5年）の時、同期の人と話し合って、全員平等の練習をすることに決めました。個々の練習についてよりも、まず部員の心の方に目を向けたわけです。これはとても良かったと思います。たとえば、打撃練習では、全員が同じだけ打つということで、「あと1本」とわがままを言う人がいなくなりました。

## 昭和58年度講演会一覧

昭和58年度本学で開催された講演会は次のとおりです。  
(庶務課)

開催日	演 題	演 者	担当講座
5月7日 (土)	育損患者の尿路管理の変遷	北海道大学名誉教授 辻 一郎	泌尿器科学講座
8月24日 (水)	腫瘍ウイルスによる細胞の癌化	米国セントルイス大学分子ウイルス学研究所 所長 M. グリーン博士	細菌学講座
9月26日 (月)	合衆国における Two Major Health Problems- その病因への National Research Trends.	米国ハーバード大学医学部教授、米国ボストン網膜財団研究所 病理部長 向井紀二	病理学第一講座
10月5日 (水)	Multiple Organ Failure の治療方針と その実際	岡山大学医学部附属病院長 小坂 二度見	麻酔学講座
10月6日 (木)	僧帽弁狭窄 (特に術後遠隔成績からみた手術適応)	愛知医科大学医学部教授 土岡弘通	外科学第一講座
10月13日 (木)	免疫グロブリン遺伝子	大阪大学医学部教授 本 庶 佑	病理学第二講座
3月12日 (月)	ヒト免疫応答の遺伝的制御	東京医科歯科大学難治疾患研究所教授 笹月健彦	病理学第二講座

幸い、私達の時代には、部員の心の方に目を向けること等で、チーム全体の雰囲気は良くなり、東医体準優勝にまで到達できました。クラブの状況は絶えず変化してゆくと思います。ですから、それに応じて責任学年の人は対処してゆかなければいけないと思います。

### 3. 個人として

4年まではあまり試合に出れない部員の1人でした。出る人数に制限がある以上は、上手な人が出るのが原則であるとわかっているのですが、出れないのは辛いものです。打席に立つ後輩を応援する際は、心中穏やかではありませんでした。

打撃が非力で4年間ライトの補欠に甘んじていたわけですが、打撃に関して言えば、自分のフォームを持つまでが大変でした。4年の冬期間の素振り(500本/日)で自分のフォームが身につくまでは、順調でした。

5年になり試合に出るようになって心掛けたことは、試合に出る以上は全力でプレーしてベンチにいる人に不快な気持ちを与えないようにしようということです。内野ゴロを打って、照れ隠しに1塁にタラタラと走る姿に憤りを覚えた経験と、私自身一緒にベンチにいる人に対してよりも試合に出ている人に対して厳しい目で見ていた経験とがあったからです。

打順は1番から9番までであり、役割が明瞭です。全員が4番を目指す必要はないのです。自分を活かすためには、自分の力量と性格に適した打順を目指せばよいわけです。このことがわかるのに何年もかかりました。

### 4. おわりに

野球は勿論のこと、野球以外の面でもお世話になりました坂井英一部長と長和彦監督に感謝いたします。二人の同期、多くの先輩、素晴らしい後輩、ありがとうございました。

旭川での6年間で銀メダル1個に凝縮されているように思えます。

(第6学年学生)





# 小児医学の対象

奥野 晃 正

小児科医になって以来、しばしば「何歳まで小児科でみるのですか？」という質問を受ける。真面目に質問されたときは、答えに窮する仲々の難問である。今日は真面目な話と言うよりは、これまでに私がどのような答えをしてきたかという話である。

小児科医になったばかりの頃は、「15歳までです」と答えていた。最も平凡で無難な義務教育年限で区切る方法である。ところが、15歳になった自分の受持患者に、「明日から内科にお行きなさい、サヨナラ」と言えば、大部分の患者とその親から「今しばらく小児科でみて下さい」と頼まれるのが普通である。場合によっては「先生は、うちの子を見放すのですか」などと言われかねない。そのうちに、15歳で区切るのは少し無理のようだからなどと理屈をならべて、「では18歳までは引き続き小児科でみせていただきます」と妥協するようになったのは、専門外来を持つようになった頃からである。

さて、さらに3年たって、その患者は果して小児科を卒業するであろうか。約半数の患者が「この歳で小児科に通うのは恥ずかしい」などと言いつつも留年を希望するのである。就職、結婚と言うことになると住居も代るせいか、独立心が強くなるためか、ようやく小児科を離れる決心ができるようである。その一方で、中学生になったとたん小児科にかかることをいやがるため、やむなく早目に内科に進級していただく例もある。

成長発達には大きな個体差があることを考慮すれば、小児科の対象を年齢で一律に区切ることのむずかしさが理解できよう。そこで全く考え方を換え、「親が付添って来るうちは小児科の方がよいでしょう」と言ってみたところ、これは完全な失敗であった。大学病院の外來でも、たまに小中学生が一人で初診の受付をすることがある。こんなときに外來当番にあたると大変な目に遭うことになる。母親の遠隔操作でやってきた子供は、「咳がでます」、「風邪をひきました」、「熱が下がりません」と主訴を明確に告げてくれるものの、詳しい病歴を聞くことは不可能に近い。いわんや既往歴の分かりますはずもなく、うっかりした質問をすれば、「小さい時のことは覚えていません」と一蹴されて、自分の愚問に気がつく。それではと患者の家に電話をすると「母親は外出中です」との答えに望みを断ち切れ、ついに丁重にお引取りをお願いしなければならなくなる。逆に一人の子供に両親のみならず祖父母までが付添い、病歴を取りはじめると各々の言うことが食い違い、そのうちに口論が始

まり收拾がつかなくなり、結局最も正確な情報を提供してくれたのはまだ小学生の患者であったということもある。付添いの有無と患者の自立性とはあまり関係がないのである。

二三の人に「貴方なら自分の子を、いつまで子供あつかいしますか」と聞いてみたこともあるが、参考になる答が得られたことは無い。そんなことは答えられる問題ではなく、聞く方が間違っているのである。それならば先程の「何歳まで小児科ですか」という質問にも答は無いのではなからうか。このことに気が付き、自分でも納得できたのはほんの数年前からである。子供から大人への変化は連続したものであり、境界などあろうはずがないのである。同様に小児科と他科との間にも境界はないはずである。もしあるとすれば、それは便宜上のものであり、患者にとっても都合の良いものでなければならない。付添いの有無や年齢で小児科の対象となる患者を区別しようとするのは、医者立場から見た物の考え方であり、患者にとって必ずしも都合が良いとは言えないであろう。そこで最近では「歳にかかわらず、小児科にかかりたい方は、こちらへどうぞ。他科を御希望の方は、そちらへどうぞ」とこたえることにしている。「それは一寸無責任ではないのか」という声もないではないが、実際にやってみると患者側からの不満は全くないようである。

小児医学とは本来成長発達の医学にほかならない。小児科医の役割は成長発達に悪影響を及ぼす因子を軽減し、出来得るならばこれを取り除くことにある。当然のことながら、また残念ながら、この役割を果すことは非常に困難である。したがって毎日の診療の場では、自分にできるものについては「こちらへどうぞ」、他の人の方が優れているものについては「そちらへどうぞ」と案内係をつとめることも小児科医の重要な仕事のひとつと考えている。そのうちに考えの修正を迫られることになるかもしれないが、当分の間は今の答が通用しそうである。

(小児科学講座 助教授)



昭和58年

4月

- 1日 附属動物実験施設長に安孫子保教授(薬理学講座)が発令された  
トレーニングコーナーが開設された(体育館2階)
- 8日 昭和58年度入学式(於 体育館)  
[新入生120名(内女子学生16名)]
- 18日 新入生研修第1回目(於 第1セミナー室・第2
- 19日 セミナー室・和室・一般教育会議室)



開学10周年記念

- 16日 第9回医大祭
- 19日 テーマ「交感神経興奮せよ!」  
(大学祭実行委員会委員長 大山昌宏)



新入生研修(第1回目)



第9回医大祭

- 21日 トレーニング機器講習会
- 23日 主催 厚生補導委員会

5月

- 14日 第75回医師国家試験合格者発表  
(本学合格者96名 合格率95.0%)

6月

- 15日 開学10周年記念行事挙行  
(式典・植樹・講演会・祝賀会)

7月

- 8日 第30回北海道地区大学体育大会
- 11日 (当番校 室蘭工業大学)



〈本学参加種目〉陸上競技(男女)・準硬式野球・軟式庭球(男)・バスケットボール(男女)・バレーボール(男)・サッカー・バドミントン(男女)・剣道(男女)・弓道(男女)・ハンドボール

〈本学参加学生数〉160名

〈成績〉男子29大学中3位、女子34大学中17位

20日 第26回東日本医科学生総合体育大会夏季大会

8月7日 (主管校 帝京大学医学部)

〈本学参加種目〉陸上競技・準硬式野球・硬式庭球(男女)・軟式庭球(男)・卓球(男女)・バレーボール(男)・バドミントン(男女)・サッカー・バスケットボール(男女)・柔道・剣道・弓道・空手道・水泳(男女)

〈本学参加学生数〉333名

〈成績〉35大学中12位

## 8月

1日 小野寺副学長が退任された

## 9月

7日 体育大会

(クラス対抗) サッカー・バスケットボール・2,000mリレー(有志対抗) ソフトボール・バレーボール・卓球

主催 学生



体育大会

21日 昭和58年度解剖体慰霊式(於 体育館)

30日 学位記授与式(於 第1会議室)

(学位記授与者 6名)

## 10月

1日 教育研究及び厚生補導担当副学長に石井兼央教授(内科学第二講座)が発令された

1日 第26回東日本医科学生総合体育大会冬季大会

S59. (主管校 秋田大学医学部)

3月31日 〈本学参加種目〉ラグビー・スキー

〈本学参加学生数〉78名

27日 新入生研修第2回目(水・土・日は除く)  
11月10日(於 職員研修施設)

## 11月

5日 第76回医師国家試験合格者発表  
(本学合格者3名 合格率60.0%)

## 12月

19日 スキー教室(於 北大雪スキー場)

20日 講師4名・参加学生24名

主催 厚生補導委員会

24日 学位記授与式(於 学長室)

(学位記授与者 1名)

昭和59年

## 1月

14日 昭和59年度大学入学者選抜共通第1次学力試験

15日 (本学会場 621名)

26日 スポーツ大会(バレーボール・雪中サッカー・雪  
2月2日 中リレー) 主催 学生



スポーツ大会

## 3月

4日 昭和59年度旭川医科大学入学試験

5日 (志願者 364名)

8日 昭和59年度旭川医科大学大学院入学試験

(志願者 13名)

15日 昭和59年度旭川医科大学入学試験合格者発表

(121名)

17日 昭和59年度旭川医科大学大学院入学試験合格者発表(12名)

24日 第6回卒業証書授与式(於 体育館)

(卒業生 95名)

学位記授与式(於 第1会議室)

(学位記授与者 14名)

(庶務課・学生課)

## 研究室紹介

### ■ 哲学 ■

岡田雅勝

「哲学」学科目は昭和48年本学設置と同時に助教授として北大文学部助手であった岡田雅勝が発令され、今日に至っている。10年間変ることなく一人の研究室である。

これを研究室と言っているのかどうか、本人は戸惑いを感している。もし仲間がいるとすれば窓に広がる自然の風物だ。晴れわたった日の大雪連峰及び十勝の山々は私に語りかけ、心を高貴なものへと浄化してくれ、雨や嵐の自然は私のうちに複雑な人生模様を考えることを促してくれる。沈黙のなかに身を沈潜させ、先哲が語りかけてくれるものを聞くとき何となしに心がなごんでくる。だが先哲は厳しくなかなかに私に本当のことを語ってくれない。

こんなときいつも横文字を縦文字に並べかえながら、何か本当のことがみえてくれないのかと頭を悩ます。以上が私の研究生活である。

研究生活に刺激を与えてくれるものは若人たちとの対話だ。文学でも芸術でもいい、素直で疑問にみちた問いとエネルギーが私に刺激を与えてくれる。そんな意味で読書会を通して哲学研究を開かれた場にしたと努力している。また数年前の西ドイツでの研究は私にとって貴重な体験であった。それを機会に何か自分のものと希望だけは大きくもって机に向かっている。

(哲学 助教授)

### ■ 歴史 ■

原田一典

昭和48年9月29日に本学の設置をみたが、同時に一般教育学科目の一教科として「歴史」が設定され、またその担当として私が赴任した。爾来、当研究室の人的構成は、私一人である。

一人では教育に研究に大変でしょう、となくさめと受けとめられる言葉をいただくことがある。史料を渉猟し解釈し批判し洞察して、構築する研究の過程は、多く人文科学の分野では、一貫して一人で為すならいである。

したがって、一人だといって特に不自由さはない。ただ一人の故に最大の問題は、己の内なる怠惰である。

私の研究テーマは、「北海道内国植民政策の研究」である。北海道は、ほぼ明治期を通じ、権力側からみるとフロンティアであった。それが開発の方法と所期したもの、ならびにそこに結果した矛盾とを明らかにしていきたい。またそこには、近代日本国家の本質が直截にひそんでいて考えている。

教育上は、64時間の歴史の講義と、それぞれ32時間の文学講読および史料講読とを担当している。講義では歴

史学概論と日本史および北海道史の概説を、講読の前者では「風姿花伝」または「平家物語」、後者では「解体新書」と「医戒」をとり上げている。

おしまい一言、近時、学生諸君の、自らに向って学ぶ意志の欠落の大なること、何んぞや!!

(歴史 教授)

## スキー教室

12月19日(月)20日(火)の両日に、紋別郡白滝村の北大雪スキー場において、第1学年から第5学年までの学生24名(男子17名、女子7名)が参加し、スキー教室が行われた。

両日もスキー日和となり、4名の指導員のもと上級班、中級班(2班)、初級班に分かれ、それぞれダウンヒル、パノラマ、ファミリーコース等を存分に滑り込んでいた。

また、1日目の夜には午後には撮ったビデオを見、皆自分のフォームに目を凝らし、上級者などからは批評、指導の言まで飛びかった。引き続き学生、指導員、職員を交えた懇親会の席が持たれ、手品、歌、踊り(?)などの余興も披露され盛会であった。

来年度もより多くの参加を期待する。

(学生課)



## 学生証について

学生証は3年間有効ですが、毎年4月に査証を行っています。

59年度は4月2日から学生課学生係において学生証の交付又は査証を行います。昭和56年度以前の入学者については有効期限が3月31日のできるので新学生証の交付、又、昭和57・58年度入学者は査証となるので、全員学生証を持参すること。

(学生課)



## サークル紹介



本学には現在、体育系32、文化系29の学生団体があり、延1,185名の学生諸君が各サークルで活動しています。

課外活動は、学生諸君の人間形成を目的として行われる正課外の教育活動であり、大学教育の中で正課教育と並んで重要な位置を占めています。

各人の適性や趣味に応じた活動を通して、自主的・創造的能力を養い、また大学社会の一員としての自覚・認識を深める課外活動は、将来社会人として共同生活を営む時の基礎となることでしょう。

各サークルは諸君のエネルギッシュな若い力を求めています。“これぞ”と思うサークルであなたも活躍してみませんか。

(学生課)

## 体育系

### ラグビー部

最近の日本におけるラグビー熱は異様な程であり、旭医も、ラグビー熱がいやがおうにも高まっている。ラグビーの競技自体の楽しさはもちろんのこと、クラブ自体も実に楽しい。ラグビー部のメリットは多すぎて書ききれないが一部紹介しよう。球技の集大成であり、あらゆるスポーツのエッセンスがここに隠れているし、又、15人という大勢でやるので、レギュラーになれる確率が大きく、又、以外な事に女性にも人気のあるスポーツである。前シーズンに全道優勝（ブロック）を遂げた旭医ラグビー部は、練習、試合、合コン等々、いろいろな面で楽しいクラブである。

(責任者 粟井是臣)

部員数	経費	活動
26	会費 月額1,000円 遠征費自己負担	㉔～㉔北海道ラグビーフットボール選手権大会（ブロック優勝） ㉔～㉔東医体（ベスト8進出） 旭川ラグビーフットボール協会・北海道ラグビーフットボール協会・日本ラグビーフットボール協会加入



### 準硬式野球部

日本で幅広いファン層を持つスポーツの一つとして、野球が挙げられるように、誰しも一度はグローブを手にし、その白球を手にしたことがあると思います。一般に、医学部の野球部というと、中学・高校時代の経験者が少ない為、低レベルのものと思われがちですが、我々は、そのハンデを練習量とチームワークでカバーしようと努力しています。クラブ内の雰囲気も非常に良く、大学に不馴れな新生でもすぐに打ち解けることが出来るでしょう。思いきって野球をやってみたい人は、グローブを手にグラウンドへ!! 部員一同待っています。

(責任者 大河原雄一)

部員数	経費	活動
25	会費 年額10,000円 遠征費自己負担	㉔～㉔北海道大学準硬式野球春季リーグ戦（二部リーグ）4位 ㉔～㉔地区体2位 北海道大学準硬式野球連盟加入



### 卓球部

卓球部は非常に家庭的なクラブである。というのは、上級生と下級生は、親子や兄弟のようで、時には厳しく、時には優しく接し、共に楽しみ、励まし合っている。

北医体では男女共に大活躍をし、実力でも上位に位置している。練習内容もかなりハードになっているが、反面部員の誕生会をしたり、ボウリング大会、キャンプ等卓球以外でも、クラブ内の交流を盛んにしている。

このように、卓球部は熱血なばかりのクラブではなく、優しく、暖かい、実に素朴な家庭的な人々ばかりのクラブである。

(責任者 佐藤伸之)

部員数	経 費	活 動
39	会費 必要なつど、 2,000円徴収 遠征費自己負担	5～6 東医体 (男子) ベスト 8 5～6 秋季北海道学生卓球大会 3 部昇格 5～6 北医体 (男子) 優勝 (女子) 3 位 旭川卓球協会・北海道学生卓球連盟 加入



## 陸上競技部

陸上競技の練習をしていると、よく「ただ走っていて何がおもしろいんだ。」と言われることがあります。たしかに、練習は単調で決して楽なものではありません。しかし、そこには技術を研究し、身につけてゆく楽しさがあります。「人生はマラソンだ。」などといいますが、これは自己を向上させるための、日々の努力の積み重ねを意味し、まさに陸上競技の神髄といえます。われわれは、家族的な雰囲気の中にもきびしさを秘め、仲間達との練習を通じて、肉体的そして精神的に自分自身を向上させています。練習後、汗を流す時の喜びはまさに格別!!

(文責 伊藤彰胤)



部員数	経 費	活 動
12	会費 月額1,000円 遠征費自己負担	5～6 第35回北海道学生陸上競技 5地区体 (3 位) 5～6 東医体 (1 位) 5 第43回全日本 医歯薬獣医大対抗陸上競技 (2 位) 団体、その他各種大会にも参加 旭川陸協・道陸協・日本学生陸上競技 連合加入

## スキー部

スキー部は、スキーを楽しむクラブであると同時に、レースを楽しむクラブであります。

燃えている先生と、パワフルな先輩が、皆さんをお迎え致します。

医大最強の集団であります。

(責任者 妻倉聡)

部員数	経 費	活 動
54	会費 月額1,000円 (5月～10月) 遠征費自己負担	5～6 東医体男・女総合優勝 5～6 全道学生選手権男子リレー 2 位 5 全道学生スキー連盟駅伝 2 位 北海道スキー連盟加入



## ボディビルディング部

ボディビルディングというと、とても専門的で特殊な競技と思われがちですが、医大ボディビルディング部はあらゆるスポーツ・武道に耐え得る総合的な基礎体力向上を目的としています。そのため、殆どどのクラブ部員は他の運動クラブとの掛け持ちで練習しています。もちろん部員として春・秋期の全道大会出場は不可欠ですが、何よりもまずオールラウンドな身体の育成のために、あなたも一緒に汗をかきませんか。初心者の方を大歓迎です。ちなみに、部員全員、大学入学後初心者として始めた者ばかりです。

(文責 横田英典)

部員数	経 費	活 動
15	会費 月額1,000円	%全道学生パワーリフティング 春期大会 2位 %全道学生パワーリフティング 秋期大会 2位 %全道学生パワーリフティング 新人戦 2位 全道学生パワーリフティング協会加入



## バドミントン部

オマチー。我々羽球部は、現在、男子はキン骨マン森田部長を中心に24名、女子はキン肉ウーマン竹内部長+6名、総勢32名で活動してます。ゴクン。週3回、約2時間の練習ではありますが、全員で充実したものにしています。デキルノまた、昨年、OB会も結成され、OBとの連絡も潤滑になり、greatな部になりました。ガッタイさてー、部員の和ですが、これまた、大声でniceノとってよく、合宿の他に、海水浴、スキーなどもあるよ。オット、学祭では、恐怖のお化屋敷を忘れちゃいけないぜ。羽球やりたい人、体育館に見に来てネノ

部員数	経 費	活 動
32	会費 月額1,000円	春季旭川地区バドミントン大会(2位)

## 硬式庭球部

テニスの楽しさを一言で言うというのは無理かもしれませんが、強いて言うとするればその難かしさにあるのではないのでしょうか。上達してゆくと必ず壁にぶつかり、その壁を越えると今までとは違ったプレーができる。それを繰り返すことによって、より高度な技術を身につけてゆく。それがテニスの苦しさであり、楽しさでもあると思います。ミーハーテニスも結構。テニスファッションも結構。でもどうせやるなら、真剣に自分の技術をみがいてみたいと我々は考えています。硬式庭球部で、いっしょに可能性に挑戦してみませんか。

(責任者 渡二郎)

部員数	経 費	活 動
45	会費 月額1,000円 遠征費自己負担	%~%北海道学生王座リーグ 2部リーグ、男子2位、女子4位。 %~%北医体・%持勝杯争奪対帯広畜産大学対抗戦・%~%東医体男子ベスト16 北海道学生テニス連盟加入



## バスケットボール部(男子)

昨年の男子バスケット部は下記の様に不本意な成績をおさめ、今年にかかる思いもひとしおといった所ですが、ここでその原動力となるべき新入生の入部を我々22人が期待しています。この22人、バスケットだけでなくその他幅広く何でもこなす、つわものぞろい。今年入部してくるあなたたちの大学生活は楽しくなること、まちがいないし。練習は合宿中、大会前は少々きつくなりますが、活動の中に楽しみが見つけれられる様になってしまうともうこちらのもの。楽しみながら上達目指し一緒にPLAYしてみませんか？

(責任者 内田恒)

部員数	経 費	活 動
22	会費 必要なつど 1,000円程度 徴収 遠征費自己負担	%~%北医体 (5位) %~%地区体 (準々決勝敗退) %~%東医体 (3回戦敗退) %~%インカレ道予選 (2回戦敗退) 旭川地区バスケットボール協会、 日本・北海道バスケットボール連盟加入



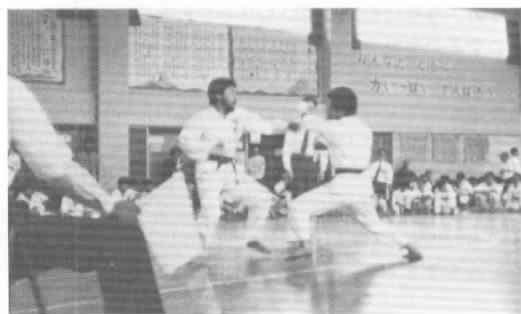
## 空 手 道 部

- 大学に合格したら空手をやってみたくて思っていた人
- 基本的に自分は wild だと思っている人
- 強い人、または強くなりたい人
- いわゆる団体競技よりは、本当の自分の実力が試される格技にスポーツの潔さを感じる人
- Orient の深遠な精神文化に触れてみたい人

以上5項目どれか一つでも該当する人は、空手道部に入学しないと必ず後悔するでしょう。逆にそうでない人は練習（毎昼休み武道場）を一度でも見学すると、空手に対する新鮮な興味を感じてもらえると思います。

（責任者 坂井博之）

部員数	経 費	活 動
17	会費 月額 700円 遠征費自己負担	北海道空手道選手権旭川大会個人戦（準優勝） 東医体（個人戦3回戦出場・個人戦4位） 全道学生空手道連盟新人戦（団体戦2回戦出場） 全日本・北海道・旭川地区空手道連盟、 全道学生空手道連盟加入



## 柔 道 部

私達、柔道部なんです。総勢11人と書いておきました  
が実際は各自の都合によりまして、6~7人で練習して

いるありさまで。もう少し人数がいたら、もっとバラエティーに富んだ練習ができるのですがねえ。

皆さん御存知のことと思いますが、成績はあまり良くありません。といっても、決して軟弱なわけではないのです。この原稿を書いているK氏も、柔道部に入って約2年で黒帯を取りまして、部員全員が有段者という状況なのです。（K氏は登録料が高いと言って泣いておりました。皆様、彼を見かけたら慰めてあげてください。）

まあ、言ってみれば、これから伸びるクラブなんですよ。何とか、北大、札医に負けずに頑張ってみましょう。

ところで、このクラブに居てつくづく感じることは、部費がいらぬことですね。ありがたいですねえ、これは。今時、他にこんなクラブありますか。月末なんか特にこう感じますねえ。

最後に、OB並びに顧問の諸先生方の御好意に是非、報いるように努力したいと思っております。これからも御支援願います。

（責任者 岡田力哉）

部員数	経 費	活 動
11	会費 無 料 遠征費自己負担	6月3校対抗戦 7月下旬~8月上旬東医体柔道大会 旭川柔道連盟・全日本柔道連盟加入

## サ ッ カ ー 部

新入生のみなさん、入学おめでとうございます。旭医大サッカー部は、創立期のメンバーがほぼ入れ替わり、藤内主将率いる新時代の部員で構成されてきています。その厳しい練習が終ると、部員たちの馬鹿馬鹿しさがちらほらと見え隠れする今日此の頃、というやり甲斐のあるかつ楽しいクラブです。北海道の夏は短かい、大勢のできるアウトドアスポーツがBESTです。しかもグラウンドのバックは、北海道の屋根といわれる、大自然に満ちた大雪山、もうあなたは「思い切りボールを蹴りたい。」という衝動を押さえる事はできないはず。蹴った後の気分は爽快。「ああ、そうかい。」なんて言わずに、お試しになっては如何ですか。初心者も多く、安心して入学して頂けます。又、一部リーグに残っていますので高度なものもお楽しみ頂けると存じます。勿論試合数も多く、二軍戦も用意しているので、きっとあなたは満足の二文字を手に入れることができるでしょう。

さあ、やる気のある新入生諸君、サッカー部にまかせなさい。

（責任者 藤内智）

部員数	経 費	活 動
27	会費 必要なつ徴収 遠征費自己負担	北医体(1回戦敗退)・地区体(準優勝)・東医体(1回戦敗退)・北海道学生リーグ1部(6位)・旭川社会人リーグ1部(5位) 旭川サッカー協会・北海道学生サッカー連盟・日本サッカー協会加入

## バレーボール部

バレー部は現在部員数が約20名で、夏場は週4日、冬は週3日の練習を行っています。部員は、試合が終る度に「一から出直します。」と誓う筋肉マンや、いかなる時にも笑顔をふりまくアイドル、またフラッシュダンスレシーブやテレマークレシーブを得意とする男など、なかなかの個性派ぞろいです。

昨年は東医体、全医体など出場した大会では好成績を収め、全道の大学リーグ戦では4年ぶりに念願の3部昇格も果し、バレー部にとってはとても充実した1年でした。この様な好成績を残せたのも、春・夏深川で行われた2度の合宿、日曜日もしむことなく行った練習や試合、そして従来のオープン主体の攻撃から時間差攻撃を随所におりませたコンビバレー(?)への切替えがうまくいったからだと思います。今年は主力として活躍した6年生の2人が抜けてしまいますが、チームの大黒柱である両エースとセッターが健在なので、昨年達成できなかった東医体優勝を目標に、部員一同練習に励みたいと思います。

(文責 齊藤浩之)

部員数	経 費	活 動
23	会費 月額1,000円 遠征費自己負担	5月北海道大学バレーボール春季リーグ4部4位・7月地区体ベスト8・東医体3位・8月全医体準優勝 10月北海道大学バレーボール秋季リーグ4部2位(3部に昇格) 北海道大学バレーボール連盟加入

## 剣 道 部

新入生のみなさん、入学おめでとう。ここで旭医唯一の輝かしい英知と伝統を誇る剣道部への入部を勧めます。

剣道で重要なのは技術うんぬんもさることながら、相手を圧倒する気合、つまり気力です。旭川の厳しい気候にあってこれに乗り切って医学を学んでいくには、体力はもちろんのこと、気力つまり精神力が必要です。これを養うためには、剣道は絶好のスポーツなのです。

新武道場もでき、練習にもますます活気ができていく今日、部員一同、新入生入部を待ち望んでいます。段の有無は問いません。ぜひ剣道部へ。

(責任者 藤井哲哉)

部員数	経 費	活 動
34	会費 月額1,000円 遠征費自己負担	7月中旬北海道地区医学部対抗剣道大会団体戦・新人戦 優勝 7月下旬東医体ブロック2位、決勝トーナメント出場 11月上旬北海道学生剣道新人戦・個人戦ブロック3位 旭川剣道連盟・学生剣道連盟加入



## 山 岳 部

何故山に登るのか? そんな古典的な質問をされるスポーツは登山ぐらいだろう。それだけ登山は人を魅了する力をもっている。山登りとは子供の頃の野山を駆けまわった冒険の延長であると思う。山に登るとき、子供の時のあの冒険心が甦り、わくわくしてしまう。それが登山の魅力なのだろう。

日高の沢を詰め稜線に飛び出した時、紺碧の空に吸い込まれそうになる。夕陽の沈む山頂で風の声を聞く時、周囲の峰々に押しつぶされそうになる。そんな自然との一体感が忘れられずに、今年も僕は山に登る。

(責任者 島谷尚樹)

部員数	経 費	活 動
16	会費 月額200円 旅費、保険料自己負担	4・5月春山山行(黒岳) 7月夏山山行(知床、日高) 12月冬山山行(十勝、大雪) 3月冬山山行



## 弓 道 部

今年の夏は東医体があるよ、この旭川で(弓道部のみ)そこで我弓道部では選手、マネージャー、お手伝いさん大募集。——弓の魅力は、あの音です。的中した時の。

皆中した時の拍手の。あの形です。いったい誰が考えついたんでしょうかね。あの形は。そしてあの緊張感。的を狙っている時の。静かな動作の中には、攻撃的な要素も合わせ持っているわけです。まあ、変わったスポーツを試みたい方、弓に興味のある方、その他、アイコ16歳を見た人、気軽にグラウンドのはずれにある道場に、遊びにいらして下さい。

(文責 溝淵雅広)

部員数	経 費	活 動
20	会費 月額1,000円 遠征費自己負担	地区体(男子6位・女子4位) 東医体(7位)・全道学生弓道女子戦(8位)・全道学生弓道争覇戦(3部2位) 旭川弓道会、全国・全道学生弓道連盟加入



## ワンダーフォーゲル部

大学創設と同時に発足した「徒歩旅行の会」が我「WV部」の前身であり、雄大な北海道の大自然の懐に抱かれてキャンプを楽しもうと集った仲間は老若男女28名。

対外試合がない為、我々の存在は一部の者に知られるのみではあるが、部員同士の結束は堅く、自然に恵まれた旭川近郊(山・海・湖・高原etc)を歩き回っている。

大自然の美しさに接し感動する、何と高尚な趣味ではなからうか。現在女子は1年生の3名のみであるが、彼女達を中心にいづれば女子部も出来る様、来年も、可愛い娘がいっぱい入部しないかなあ〜と、おじさんの独り言。

(責任者 板垣英雄)

部員数	経 費	活 動
28	会費 年額1,000円 遠征費 必要なつ徴収	5月金山ハイキング、6月原始ヶ原キャンプ、7月利尻・礼文・サロベツ遠征、8月沼の平、9月沼の平、10月十勝岳



## 大東流合気武道クラブ

旭川医大に誇る合気道も今年で満九歳。創立当時2人であった我がクラブも今や部員10数名、OB4人のまとまったクラブである。合気道=女の子のイメージだが、大東流合気道は男のスポーツなのである。大東流とは武田抜刀隊に源流を見る。大刀に対し小刀で立ち向かう技で、その脇差しが素手になり、奥技として柳生新陰流と共に江戸幕府に用いられるようになった。これが我々が毎日練習している事である。もちろん強くなれるし、それ以上に自信が付き気分爽快。俺も大学に来て始めたばかり。

やる気のある心逞しき男女諸君、旭川医大合気道部へ来たれ!!

(責任者 沢田恒平)

部員数	経 費	活 動
16	会費 月額 500円 遠征費自己負担	7月29日北海道学生合気道大会 8月4日~8月5日大東流合気武道演武大会





## 硬式テニス同好会

週二回の練習と、その他の空き時間を利用して、テニスを楽しむ。それが、我が硬式テニス同好会なのです。

みんな、先輩・後輩の区別なく、自由にテニスに打ち込んでいます。積極的な人には、優しい先輩たちがアドバイスしてくれます。合宿もあります。手軽にできるが、その実非常に奥が深く、とてもやり甲斐のあるスポーツです。さあ、テニスで楽しく汗してみようと思う諸君、ぜひ入会しましょう。

(文責 高橋滋)

部員数	経 費	活 動
44	会費 年額1,500円 遠征費自己負担	毎週 水・土 練習



## 白い恋人 (基礎スキー&山岳スキー同好会)

スキー同好会にはどんな人たちがいるの? 頭脳明晰、ルックスよしセンス抜群、そして自然を愛する豊かな心を持つてる人ばかり。勿論スキー技術は超一流で“ゲレンデの妖精”といわれ、アフタースキーも話題豊富で、芸達者ぞろい。だから当然、異性からは熱い視線を注がれるのです。でも彼(彼女)らは、そんな時でもさりごとく言うのです。「俺(私)たち、スキーが恋人なのさ!」

(責任者 斎藤義徳)

部員数	経 費	活 動
55	会費 必要なつ徴収(合宿一回あたり20,000円)	1/6～1/7富良野スキー合宿 3月初旬ニセコスキー合宿(予定) 1/6～1/7北海道学生基礎スキー選手権(予定) 北海道学生基礎スキー連盟加入



## 女子バスケットボール部

旭川医大内のサークルで唯一女子のみで活動しているこの女子バスケット部。活動開始後、満4年着実に実力をつけ5年目の今年に大きな望みをかけている現在、新しい戦力となるべき新入生の入部を心待ちしている次第です。現在の部員のほとんどが初心者でありながら、お互いに協力して教えあい学ぶというチームワークのため、素晴らしい戦績を上げているわけですが、このチームの一員にあなたも加わってみませんか。

アダルトなお姉様から、かわいいひよこまでそろってあなたの入部を待っています。

(責任者 森下奈緒美)

部員数	経 費	活 動
10	会費 月額1,000円 遠征費自己負担	1/6～1/7北医体(岩手)3戦全勝 1/8地区体1回戦敗退 1/9～1/10東医体(東京)3位 1/11インカレ予選1回戦敗退 旭川地区バスケットボール協会、日本・北海道学生バスケットボール連盟加入



## 文化系

### 医療研究会

文化系サークルの中でひととき行動力を誇るのが医療研です。夏のフィールドワークを中心に大学祭・全国医学生セミナーでの研究発表など将来の医師像を模索しながら医療の現実を考えていくサークルです。特にフィールドワークは地域に入り医師と共に検診を行う他、家庭訪問を通して地域の方々と交流するユニークな活動です。この中で聞いた声が我々の活動の源です。今期は看護学生も交えて活動を行うつもりです。君も医療研で共に活動し考えてみませんか。第4セミナー室で待っています。(文責 松田彰)

部員数	経費	活動
40	会費 月額 300円 夏期フィールドワーク自己負担	6月中下旬大学祭医学展 "旭川市の救急医療" 8月上旬全国医学生セミナー(弘前大) 8月下旬フィールドワーク(幌加内町) 全国医学生セミナー



### 茶道部

茶道は今日、人間生活のいちばん大切な豊かな心を教えるものとして重視され、静かなブームを呼んでいます。私たち茶道部も、ただ単にお茶の作法やお点前の手順を習うだけでなく、お茶をとおして、人と人とのふれ合いや豊かな人間性について考えていきたいと思っています。現在、部員は10名、毎週火曜日に2人の先生をお招きしてお稽古をしています。大学祭には毎年お茶会を開き、好評を博しております。ぜひ多くの人に、茶道の楽しみを知っていただけたらと思っています。

(文責 福田)

部員数	経費	活動
10	会費 月額500円 お稽古1回ごと 500円	毎週火曜日 (於 和室)



### 映画研究会

思えば映研が発足したのは去年の卒業生(5期生)が1年の時だから、もう7年前のことになる。名画座(封切り館より安く、かつ、良質な映画を上映する所)のない旭川で、映画好きだが金のない彼らが、少しでも安く良質な映画を見たい、見せたいという動機から、自主上映会を開いたのが始まりである。以来、数十回の上映会を重ね、この街の映画好き青年(中年も)に若干の寄与は果して来たと思う。今、映研は曲りかどに来ている。

年々困難になってゆく上映会(及びその他の活動)に、新たな息吹きを吹き込んでくれるのは、君たちだ。

(責任者 吉武博志)

部員数	経費	活動
20	会費 月額 300円	4月自主上映会「明日に向かって撃て」 6月医大祭上映会「ステイキング」 「ライム・ライト」他 10月自主上映会「ディア・ハンター」 その他シネマクラブとして活動 旭川シネマ連絡会議



### ロック研究会

新入生の皆様、御入学おめでとうございます。光のどけき春の日に、希望に脳をふくらませ晴れて、この旭川医大生となりましたことは、我々西洋近代電機音楽研

究会員一同にとり、この上もない喜びであります。思えば六年前、我が倶楽部がこの旭川の地に産声を上げて以来、会員の努力により今日の隆盛を見るに至り、音楽会も年に数回開催できすべて成功のうちに膜を閉じることができました。今後、日本はむろん西欧諸国、演遊を成功させるために、ここに優秀な新人の方々の入部を希望いたします。  
(文責 木村正一)

部員数	経 費	活 動
20	会費 月額1,000円 楽器は個人持ち (アンプ類はあり)	6月先聲バンド解散コンサート(於市民文化会館)・10月 国学院女子短大 祭友情出演(1年生バンド)・11月 ドク ターG出演(於市民文化会館)・12月 クリスマスコンサート(於スタジオ9)・ ディスコライブ特別出演(於スタジオ9) 1月4大学合同コンサート(於スタジオ9)



## 弦楽合奏同好会

弦楽合奏同好会は、1人を除いて全員が全くの初心者からバイオリンやチェロを始めた、勇敢な者どもの集まりです。同好会が結成されてから今年で5年目、やっと弦楽合奏らしくなってきました。今までこなした(?)曲には、アイネ・クライネ、ナハト・ムジークや調和の靈感の5番や8番もあります。これというの、旭川フィルの高木先生の個人及び合奏の御指導、本番だけ飛び入りしてなぜか私もより上手な先生方のおかげです。これからもさらに活動を続けてゆくつもりですが、現在会員が13名と少ないので、多くの人の入会を希望します。

(責任者 赤間保之)



部員数	経 費	活 動
13	会費 月額1,500円	高木バイオリン教室発表会

## 旅と鉄道研究会

こんにちは、鉄道研究会です。このサークルは、昨年何となく出来上がったものです。佐渡ヶ島のトキのように絶滅寸前の『日本国有鉄道』君を暖かく見守る会なのであります。昨今、我々の身近にも虫の息のトキが沢山うごめいており、まず、そのトキにわずかなエサを与えに飛び回るのです。エライノところで、我がサークルは国鉄のみに目を向けているではありません。船・車・飛行機・チャリンコ・脚などあらゆる旅についても受け賜っております。一つのクラブでは飽き足りない方は第2のクラブとして是非どうぞ。年中無休。面談即決。

(責任者 吉田克成)

部員数	経 費	活 動
12	会費 無 料 運賃+α自己負担	10月 自糖線乗車会(希望者のみ)

## 天文同好会

せわしくて、せわしくて、せわしい世界で孤独と狂気を秘めた現代人の上にも星は輝いているのです。善人の上にも悪人の上にも星は輝きます。まゝどうでもよい中間の人の上にも輝きますが一。星を見ていると苦悩している自分が、とっても小さく見えちゃいます。星の世界はまったく限りがありません。素晴らしい赤と青の流星群を見たときの感動は、はかり知れないものがあります。夏には観測旅行ででっかくやります。おもしろ仲間がギッシリの、とっても可愛いクラブ!!ただ星を愛せれる心があればそれでよいのですよ。

(責任者 矢萩英一)

部員数	経 費	活 動
13	会費 無 料 遠征費自己負担	



## 窓外



高橋 達郎

### 『見えない相手に抱く想い』

電話が鳴る。受話器を把る。「〇〇科の△△ですが、先日出した□□さんの結果出ましたでしょうか?」「□□さん?」——ハテどういう例だったろうか?——「名前前で言われてもちょっとわからないのですが、何曜日(何日前)に提出された検体でしょうか?」

病理組織検査をめぐる検査依頼側と担当側との間のやりとりである。筆者の如く後者(病理医、検査技師)の立場の者は頻りに、また前者(臨床医、看護婦)においても少なからず経験する状況と思う。

筆者とその患者とを結びつける糸は、外科的切除材料にせよ、内視鏡的生検材料にせよ、ズバリ検体そのもの、それと依頼医によって記載された検査申し込み票の事柄の2つが殆ど全てであると言ってよい。患者の体格は?、髪の色は?、話していてどういう印象を与える人なのか?、訴えの多い人なのか?、社会的地位・立場は?、御見舞いに訪れる人達は?……いずれも筆者の立場からは窺い得ない事柄である。要請される仕事の性質上どうしても検査票中の臨床診断、提出臓器名、検査目的等の項目が目向けられてしまう。時には年齢、性別が重要項目になるが——。患者名から受ける印象は残念ながら強くない。なかなか記憶に残ってくれない、と言い換えた方が正確かも知れない。そこで冒頭のような電話の応待になってしまう。非常に珍しい姓名の人、テレビやマスコミに名の売れている人に類似した名前、自分に身近な名前

のような場合は例外的に覚えることもあるのだが。

姓名は印象深く他人から記憶されやすい方が良いか? 逆に出来るだけ目立たない方が良いだろうか?、状況によってはどちらもとも言えないかもしれない。逃亡中の犯罪者はごくありふれた姓名を偽名として用い、自身を目立たせないようにするそう。タレント、殊にこれから売り出そうとしている者は、当然の如く強い印象づけをねらいその芸名をどうしようかと腐心する。

先に病理組織検査票の患者名から受ける印象は薄いと書いた。記憶にとめておくことは確かに容易ではない。

一般的に姓名と病変との間に何らの因果関係もないためであろう。それにも拘らず患者名を通じて、いろいろな想像が働き、知らぬ間に自分の頭の中でその患者の個人像を描いていることがしばしばある。しかも単に〇〇〇男、〇〇〇子という名前そのもののみならず、その記載者の筆跡、字の大きさ、配り具合、さらにはボールペン字の濃淡などにも微妙に影響されるように思える。

全くこちらの一方的なイメージなのであるが——。この時、もしIDカード欄に刷り込まれた片仮名のみによる患者名であれば無味乾燥である。イメージが湧いてこないのである。従ってその人の名前は覚えられず、勿論個人像は描けない。こうしてみると漢字には実に深い味のあることが改めて思い知らされる。味がありすぎるのか、時として姓名の読み方に苦勞する。こうした場合、上述IDカード欄の片仮名による名前で見られる。従ってこの欄は是非刷り込んでもらいたいと願う。今後の情報化時代に対応した事務処理上も振り仮名を付したり併記する必要性は増していくことと思う。

検査票の氏名欄に記載された患者は、音声を発して己れが訴えを述べるかわりに、検査票、検体、標本を通じてその人となりをおれわれに語りかけているのだろうか。われわれもまたそれに応えるべく、この媒体を通じわれわれ自身の持てる力をこの見えない相手にぶつけていかねばならないと思う。

(病理学第一講座 講師)